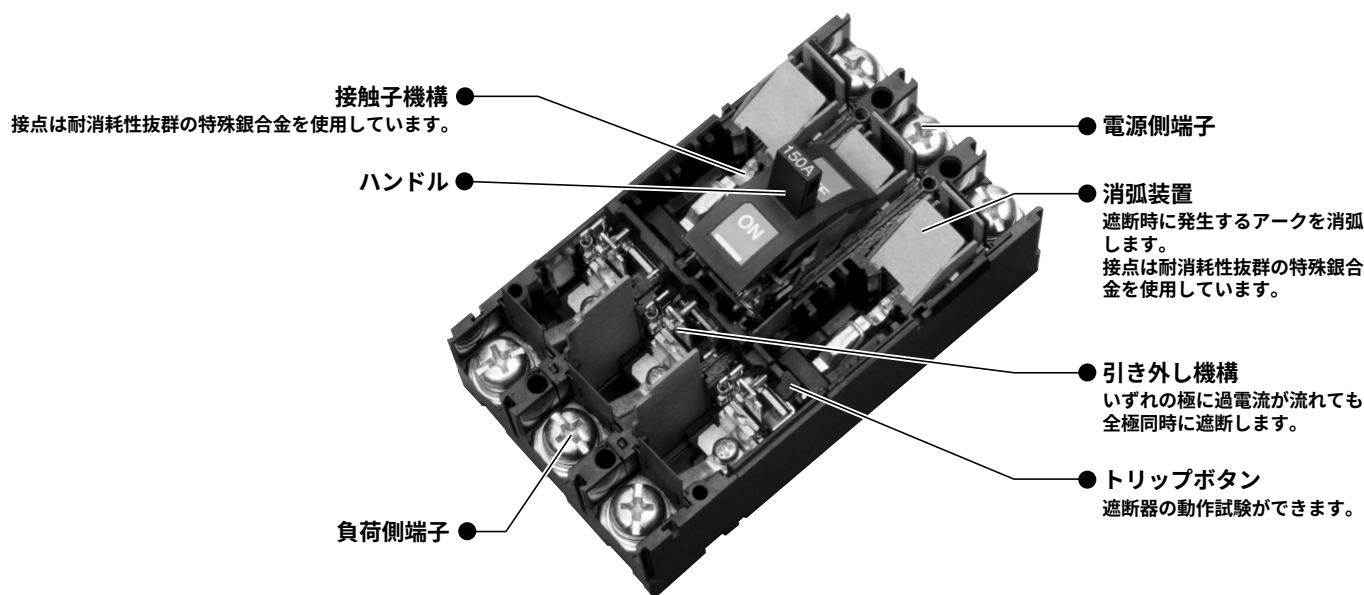
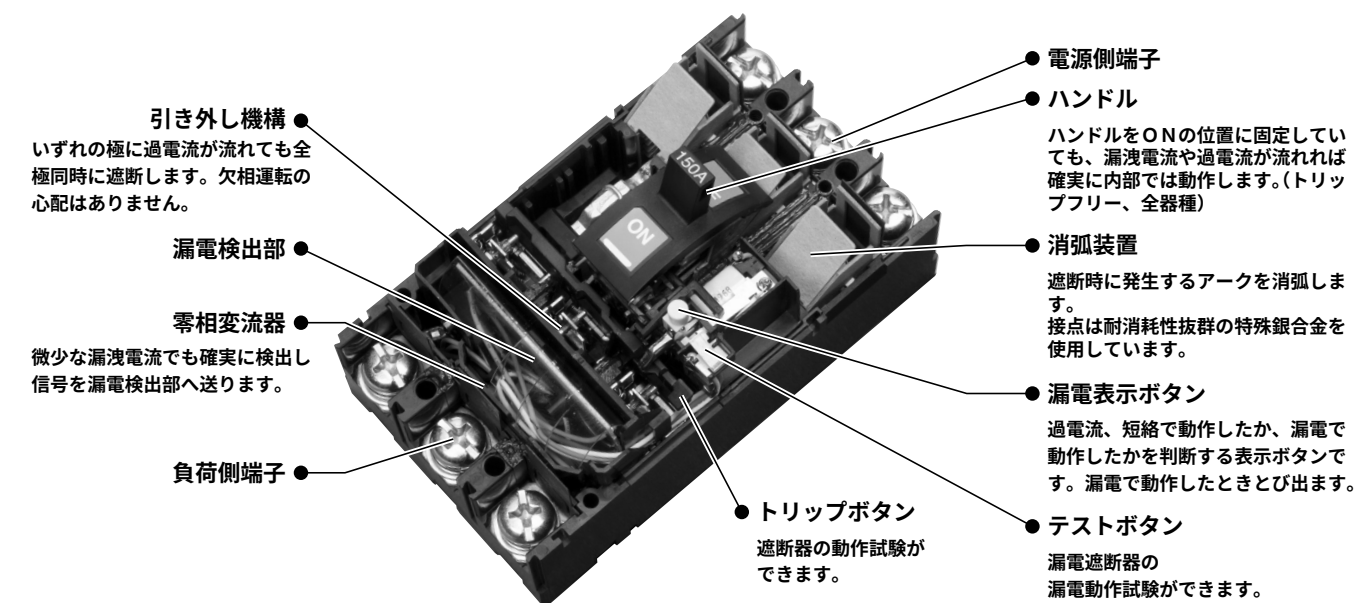


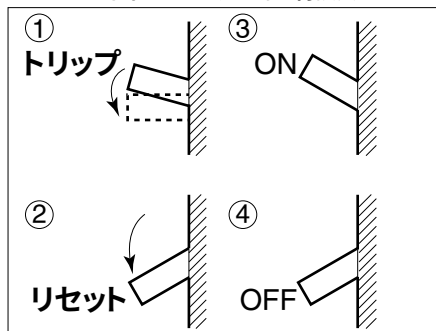
構造【配線用遮断器】



構造【漏電遮断器】



● ハンドル位置とトリップ時の再投入について



■動作(トリップ)した後で再投入する場合は、動作した原因を取り除いて安全を確認してからONの操作を行ってください。

■再投入する場合は、リセット位置までハンドルを戻してからONの操作を行ってください。(図①、②、③参照)

■単3中性線欠相保護付漏電遮断器および単3中性線欠相保護付配線用遮断器(100A以下)と安全ブレーカタイプを除く。

■単3中性線欠相保護付漏電遮断器および単3中性線欠相保護付配線用遮断器(100A以下)と安全ブレーカタイプについて

開閉操作は、リセット操作を必要としない単一操作となっております。

動作(トリップ)するとハンドルはOFF位置になります。(図④)

再投入する場合は、ハンドルはそのままONの操作を行ってください。